

現職最年少 荒川区議会議員

平成 23 年春号



# 清水ひろし

「体は細いが、芯は太い。」からの手紙

第 1 回定例会報告

\* 震災を考慮して発行を遅らせました。ご了承下さい。

東日本大震災被災地の方々、ご親戚・ご友人が被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げます。  
いま、被災地支援の輪が広がっています。私も募金活動や支援物資の回収などの支援活動を行っております。  
区内にも震災の影響が出ていますが、荒川の「地域力」である助け合い・支えあいの精神でともに乗り切っていきましょう。区議会議員として引続き防災対策にも取り組んで参ります。

## 学校設備、鉄道高架下利用等について本会議質問 予算委では選管報酬、保育所、まちの美化等を質疑



3/14 に閉会した荒川区議会第 1 回定例会において来年度予算・議員提出議案を含む 34 本の議案が可決をしました。

初日の本会議では、会派を代表して住環境、学校設備、まちづくりの 3 分野 6 項目にわたり質問に立ちました。

予算特別委員会においては、選管委員の選出及び報酬について、待機児童や保育所の問題、日暮里もみじ橋の架け替え、タバコのポイ捨てや放置自転車改善によるまちの美化等について質疑を致しました。

いま、地方議会の意義が問われています。「地域の声」を施策に反映させていく提案・提言の役割と、区政の改善点を質していくチェック機能の役目をしっかりと自覚をし、これからも

「みんなでみんなを支える社会」

「安心してともに暮らす荒川区」

「区民が納得・満足の実感出来る荒川区政」

に向けて取組んで参ります。今後ともご指導ご鞭撻下さいますようお願い申し上げます。



清水啓史 (35 歳 S50 (1975) 年 5/7 日生 卯年 A 型 おうし座)

寛永寺幼卒/根岸小卒/早中・早高卒/早大卒。民主党本部元職員  
H19 (2007) 年 荒川区議選初出馬初当選。

現在は「民主党・市民の会」幹事長。文教・子育て支援委員会、観光・文化推進調査特別委員会、議会運営委員会に所属。現職最年少・民主党唯一の荒川区議会議員として 1 期目の活動中。家族は妻と娘 (2 歳・平成 20 (2008) 年 12 月生)。



民主党・市民の会 清水ひろし

〒116-0013 荒川区西日暮里 2-28-8

TEL/FAX 03-3801-6325

E-mail shimizu-hiroshi@nifty.com

## —本会議質問から—

### 鉄道高架下の有効活用について

**質問** 区内には9路線が乗り入れている。そのうち高架下部分は総距離で5キロを超える。駐輪場・駐車場だけではなく、保育所・高齢者施設・ドッグラン、ものづくり工房などに利用されている。他の事例も参考にしながら、防犯上の面からも「鉄道高架下利用計画」を立て高架下を活用してはどうか？

**答弁** 鉄道高架下は貴重なスペースであり、現在の管理体制では防犯上、景観上も望ましくない。有効活用が図れるよう、交通事業者に要請してまいりたい。

### 少人数学級に対応した学校校舎整備について

**質問** 4月から小1での少人数学級始まる予定となっている。少人数学級に対応した各校での準備計画が必要ではないか？

**答弁** 少人数学級が進んだ場合、教室が不足となる学校もある。施設面の対応について個別具体的に検討を進めていく。

### 学校校庭の照明設置について

**質問** 小中学校の校庭は一般開放して利用されている。現在9つの学校のみ到校庭照明が設置されているが、利用者と近隣の理解を図り、設置計画を策定してはどうか？

**答弁** 平成元年から設置をしてきた。近隣への影響を把握し、設置について調査をして参る。23年度実施する学識経験者のスポーツ懇談会の中でも意見を伺って参りたい。

### マンション管理について

居住者は管理会社に対して専門知識が少ない。建築確認のように、専門家から販売前に修繕・管理体制のチェックを受ける制度の構築を提案しました。



### 区内親子近居について

子育て支援、介護者を抱える世帯への支援の両視点から、親世帯・子世帯の区内近居への応援策を求めました。

## —予算特別委員会から—

### 選挙管理委員の選出・報酬について

**質問** 選管委員の報酬を日額制にする条例案をこの間提出してきた。まず選出方法も改善が必要である。報酬については、月額報酬以外の手当はあるか？ 委員長の任期は何年間で、何年務めているか？

**答弁** 会議ごとに費用弁償が3000円出る。任期は4年であるが、近年は1年で委員長が代わっている。

**清水** この現状を踏まえ、引続き提案をして参る。

### たばこの吸殻・放置自転車の対策、まちの美化について

**質問** 「割れ窓理論」の通り、小さな問題を解決することが大きな犯罪を防ぐことに繋がる。

たばこの吸殻等の対策に約1千万円、放置自転車に1億円以上の予算が毎年計上されている。この金額は休日診療や準夜間小児外来診療合計よりも高い。コストを知らしめる広報も必要であり、権能者による対応も必要である。また、区内約1600ヶ所ある空地进行をまちなか花壇として利用してはどうか？

**答弁** コストの正しい情報を伝えることによって、今後、啓発に繋げていきたい。空地の花壇については、所有者などいろいろな問題があるが、有効な提案だと考える。

### 日暮里紅葉橋架け替え等、JRとの協議について

**質問** いま、日暮里駅常磐線ホームの拡幅が予定されている。この機を捉えて架け替えをJRに求めてはどうか。

また、日舎線、京成スカイライナーの開通もあり、京浜東北線快速の日暮里駅停車、常磐線の東京駅延伸の際の区内駅停車へ働きかけをしていくことを求める。

**区長答弁** タイムリーなご指摘である。JRとは文書による確約をとって進めていきたい。



### ペット教育について

ペットを「飼う」ということの意味について、学校教育の場の中で盛り込んでいくことを要請しました。

### 保育へ取り組み

4月入園申込者のうち377名が不承諾となった。女性の働き方も多様化しているなか、フルタイムでない方も、「保育は福祉ではなく保障」する認識のもとでの対応を求めました。あわせて、区施設の長期的かつ有効的、柔軟性をもった視点での活用について質疑しました。